

人生の機軸と雅量 ～ 愛に溢れた雰囲気 ～

2026年5月9日【『お茶の水がんと哲学外来・メディカルカフェ in OCC』14周年記念講演 & Concert』（お茶の水クリスチャン・センターに於いて）（添付）で、オルガン演奏される小林ゆかり氏（順天堂大学大学院医学研究科医学専攻博士課程に在籍中）から、4月1日【樋野興夫先生『南原繁と日本国憲法』（南原繁研究会編2011年発行）&『南原繁ナショナリズムとデモクラシー』（南原繁研究会編2010年発行）の2冊を持っております（添付）。『ナショナリズムとデモクラシー』では、冒頭に樋野先生の文章がありました。】との連絡を頂いた。大いに感動した。筆者は、『南原繁ナショナリズムとデモクラシー』の『はじめに』に【人生の起点 — 悲しい出来事、邂逅 — 人生の機軸、プロセスがあつて時間がかかる — 30年、南原繁の温故創新 — 『政治哲学者』から『がん哲学者』へ】を記述したものである。『生きている限り、人には使命がある』を実感する日々である。

『南原繁研究会』は、南原繁（1889-1974）没後30年にあたる2004年に発足し、筆者は、2019年南原繁生誕130周年を祝し3代目の南原繁研究会代表を仰せつかっている。南原繁は、内村鑑三（1861-1930）と新渡戸稲造（1862-1933）から大きな影響を受けた。筆者は、4月2日、新渡戸稲造記念センターに赴いた。『世に処する人は、性質の異なった者を容れるだけの雅量をもたなければならない』と新渡戸稲造は『世渡りの道』（1912年）で述べている。復学の日々である。

4月2日、自宅では、筆者が園長を務める『樋野動物園』の『ペンギン』（Wife）は、2026年1月8日にスタートした『英会話レッスン』の7回目を行った。今回のテーマは『Easter』であったとのことである。生徒は、『宇宙人美女3姉妹 = アライグマ（青木美由紀）氏 & 春風のようなゴリラ（森尚子）氏 = 目白がんと哲学外来カフェ代表 & シジュウカラ（池田知子）氏』である。【『人間は、年を取っても、日々勉強である』の貴重な確認の時】となろう。『愛に溢れた雰囲気』で、【『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義：喜んで無邪気に小さなことに大きな愛を込める】の心得であろう！これが、『樋野動物園』（2019年10月13日開設）の使命・役割でもある。まさに、『冗談を本気とする胆力の育成・学習 = 人生哲学のエッセンス = 生きる基軸』は、時代的要請であろう！

Wifeの従姉妹のお子様で、アメリカのコロラド州（State of Colorado）在住のChristy夫妻が訪問され、我が家で4月2日～4月7日（5泊6日）宿泊される。

お茶の水がん哲学外来・メディカルカフェ

in OCC

14周年記念講演 & Concert

2026年5月9日(土) 13時開演

会場:お茶の水クリスチャン・センター8階



小林ゆかり氏

人はどのように生きるべきか健康ライフを衣食住から考え、いのちの大切さ、尊厳と癒しを医学と音楽の観点から研究している。
オルガニスト/東京純心女子大学(現在、東京純心大学)現代文化学部芸術文化学科パイプオルガンコース卒業/慶應義塾大学法学部法律学科卒業/順天堂大学大学院医学研究科医学専攻修士課程修了/現在、関東学院大学オルガニスト/日本医療伝道会衣笠病院オルガニスト/(一社)日本オルガニスト協会会員/順天堂大学大学院医学研究科医学専攻博士課程 専門分野は緩和医療学、ストレス研究。



榎野興夫先生

順天堂大学名誉教授
新渡戸稲造記念センター長



大嶋重徳先生

OCC 副理事長
鳩ヶ谷福音自由教会牧師

～プログラム～

1. 榎野先生 記念講演
 2. 小林ゆかりさんのオルガン演奏
 3. 榎野先生と大嶋先生の対談
 4. がん哲学外来&メディカルカフェ
- * 榎野先生の面談と並行してカフェを行います

<参加費無料・事前にお申し込みください>

* 人数制限はございません、当日ご参加も可能です

お申込み方法: mail もしくは FAX でお申し込みください。

Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com

Fax: 03-3296-1010

主催: お茶の水メディカル・カフェ 共催: お茶の水クリスチャン・センター
後援: 一般社団法人 がん哲学外来

